

ひととき 木

— 人と木をつなぐ仕事 —

木地師

小林 一雄さん
(岐阜県恵那市)

北海道メモ

木地師が作品を作る際は、木目が美しく加工しやすいケヤキやトチノキが材としてよく使用されます。北海道ではエゾマツやトドマツ、エンジュなども利用されています。



木地師とは… 木をロクロで回しながら
はものけず
刃物で削って、
お盆や器を
作る職人。

削りの道具を自分で
作る鍛冶屋でもある。

夫婦共同作業の漆塗り。
5~20回
塗って拭き取って、
乾かしてを
くり返す。

長い年月をかけ木が作り出した木目の美しさを、
最大限引き出して生活の中に取りこむ芸術家
なのです!

器の大きさや仕上げ方法に
あわせて、8種もの
ロクロ鉋を
用意。